

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会(略称RAC)は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成30年8月現在102団体によって構成されています。

今回も直近の活動報告及び今年度の取組予定についてご紹介致します。

【第20回日本水大賞グランプリ受賞】



水循環の保全と人間性豊かな人を育てる活動を20年近く展開してきましたが、その取り組みが、日本水大賞委員会(名誉総裁:秋篠宮殿下)により応募総数143件の中から「大賞」に選ばれました。当受賞は、RACの構成団体をはじめ、RAC指導者の活動等が評価されたことであり、6月に行われた表彰式には全国各地の方々と喜びを分かち合いました。

【川の指導者による川遊び教室等の実施について】

RACでは川の指導者養成講座を実施しています。そして、その修了者である指導者は溺水から身を守るための方法を、全国各地で様々な場面で展開しています。一番大切なのは、は溺水から身を守るために、「ライフジャケットを正しく着用しましょう」ということと、水辺の何が危険なのかを知ることと。水難事故ゼロにしつつも、安全に水辺の利用できるよう、引き続き皆さま方のご協力をお願いします。



【川に学ぶ体験活動全国大会(第18回)について】

今年は10月13日(土)～14日(日)より茨城県

取手市で開催の予定です。

利根川と小貝川に囲まれる取手市では、水害に悩まされながらも、約30年前より、小貝川河川敷をきれいにし、地元有志によって花の運河(フラワーカナル)に取り組んでいます。春はポピー、秋はコスモ

スを綺麗に咲かせるために、藤代まちづくり協議会のメンバーが中心となって、種まきから草取り、音楽祭等を継続している地域です。そして、約15年前からは、陸水空の3次元プロジェクトを展開し、河川敷ではポニーとのふれあいを、水域ではEボートやカヌーや水遊び、空域でも様々な取り組みを行って、「子どもも大人も高齢者も障害のある方もみんな元気に」を目指して常設的な取り組みへと発展しています。

その地域の取り組みを共有し、さらに「水辺活動で育つ力」に関する各地域の取り組みにも学びつつ、「川に学ぶ社会の実現」を目指す意義を再認識することが、今回の大会の大きなねらいです。

地域交流イベントでは、Eボート等を活用したチーム対抗競技等も予定しています。是非この機会に取手市へお越しいただき、小貝川及び利根川を満喫頂ければ幸いです。

- ・開催日 平成30年10月13日～14日(土・日)
- ・主会場 取手ウェルネスプラザ

これらの活動を通じ、川のリスクと危険回避の方法が普及され、川での体験機会が増え、川と人々が共存できる「川に学ぶ社会」へ、一歩でも近づくことが出来れば幸いです。

《NPO法人川に学ぶ体験活動協議会》
東京都北区田端1-11-1 勤五郎ビル104
TEL.03-5832-9841 FAX.03-6893-2642
<http://www.rac.gr.jp>

